

チャペル週報

あなたがたは神に選ばれ、
聖なる者とされ、愛されているのですから、
憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。
(コロサイの信徒への手紙 3：12)



2006.11.13 ~ 11.17 No.20
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

- 11月13日(月) 神 柳谷雄介 (M2)
経 人間を考える 山田 仁 (経済学部助教授)
-
- 11月14日(火) 院 平林孝裕 (神学部助教授)
神 森 小百合 (M2)
文 音楽チャペル・バロックアンサンブル
社 共に生きる 広田 愛 (社4)
法 栗林輝夫 (宗教主事)
経 人間を考える (最終回) 加藤和孝 (経済学部教授)
商 木本圭一 (商学部助教授)
総 能島裕介 (Brain Humanity代表)
-
- 11月15日(水) 神 畑 俊彦 (メインストリーム協会)
社 共に生きる 河鱈一彦 (スポーツ科学・健康科学研究室教授)
法 Christian M. Hermansen (宣教師)
経 舟木 讓 (宗教主事)
商 辻 学 (宗教主事)
理 「賛美礼拝」理工学部アンサンブル
総 Yuri Tijerino (総合政策学部助教授)
-
- 11月16日(木) 神 有住 航 (M2)
文 田淵 結 (宗教主事)
法 Christian M. Hermansen (宣教師)
経 ゴスペルクワイアによる巡回音楽チャペル(商学部と合同 於:商学部チャペル)
商 ゴスペルクワイアによる巡回音楽チャペル(経済学部と合同 於:商学部チャペル)
総 上野 真城子 (総合政策学部教授)
-
- 11月17日(金) 神 ゴスペルクワイア(Power Of Voice)による音楽礼拝
文 音楽チャペル 関西学院聖歌隊
社 音楽チャペル 関西学院バロックアンサンブル
経 舟木 讓 (宗教主事)
商 則定 隆 男 (商学部教授)
理 「放蕩息子と放蕩娘」松木真一 (宗教主事)
-

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
11月17日(金)障がい者週間を覚えて(11/12~18) 大椿 裕子
総合政策学部早天祈祷会 毎水曜日 午前8:40~ 於 I号館312教室

柿 - 収穫感謝日を覚えて -

渡 辺 吉 国

実家から電話があった。庭の柿の実をとってほしいとのことである。日頃手入れをしていない野放し状態の柿の木ではあるが、今年はどうやらたくさん実がついたらしい。高齢になった両親は健康とは言えないが、幸いなことに何とか自分たちで暮らせている。しかし、体力は衰えている。とても自分たちでは取れないのだろう。1週間後に時間を取ることができたので家族で訪ねると、早速、高枝切り剪みでの柿取りである。子供たちにとっては初めての経験で、私はそのサポートにも忙しい。枝ごと切り取り地面に置く。それを何回となく繰り返していく。そんな中で分業が始まっていた。枝から実を取り、布で拭き、並べていく。子供たちは長続きせず、もうすでに家に入り遊んでいる。ふと、のめり込んで夢中になっている自分に気づき苦笑する。面白い。落とした枝やついでに剪定した庭木の後始末をして柿取りは終わった。縁側に並んでいる柿はきれいだった。

ひと段落してからとったばかりの柿を食べた。まだかたい。甘味も十分ではなかった。取る時期を逃すよりは早めに取っておきたいとの両親の希望で収穫した柿の実は、店頭で並んでいる立派な柿とは違うけれども満足だった。持ち帰った柿は、数日後から徐々に柔らかく甘くなり、舌を楽しませてくれた。

食すことを通して私たちは収穫の感謝を実感できるのだと思う。精一杯実をつけてくれた柿の木に、「よく実ってくれたね」と感謝しつつ味わうのである。また、自分で直接収穫したものにも、そうでないものにも、同じだけの思いをもてる想像力を豊かにもちたい。そして、これも神様が与えてくれたのだと素直に喜びたい。

(教職教育研究センター事務主任)

関西学院のクリスマス関連行事

学部合同アドベント・チャペル(上ヶ原キャンパス)

12月1日(金) 10:35~11:05 中央講堂

KSCクリスマス・オルガンコンサート

12月4日(月) 12:45~13:25 KSCランバスチャペル

アドベント礼拝 クリスマスツリー点灯

12月4日(月) 18:30

西宮上ヶ原キャンパス 中央芝生

神戸三田キャンパス KSCランバスチャペル

ランバス演奏会「クリスマスコンサート」平井満美子(うた)&佐野健二(リュート)

12月5日(火) 17:00 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

KSCクリスマス・オルガンコンサート

12月8日(金) 12:45~13:25 KSCランバスチャペル

大学合同クリスマスチャペル

12月11日(月) 10:20~11:20

上ヶ原キャンパス 中央講堂

神戸三田キャンパス 理工学部チャペル

関西学院バロックアンサンブル・クリスマスコンサート

12月11日(月) 18:30 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

オルガンコンサート「サウンド・オブ・クリスマス」

12月12日(火) 16:50 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

大阪梅田キャンパスクリスマス

12月13日(水)

コンサート 17:00 アプローチタワー1Fガレリア

クリスマス礼拝 18:00 アプローチタワー14F

関西学院クリスマス礼拝 音楽で祝う降誕

神戸三田キャンパス 12月7日(木) 18:30 号館201

上ヶ原キャンパス 12月15日(金) 17:00 中央講堂

関西学院聖歌隊キャンドルライトサービス

12月19日(火) 18:00 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

「メサイア」コンサート 関西学院聖歌隊

12月20日(水) 18:00 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール

12月21日(木) 18:30

聖書の植物(13) つた

ウコギ科キツタ属のつる性常緑植物で、学名をHedera helix(セイヨウキツタ)と言う。ギリシア語ではキツスと言ひ、聖書においてはただ1箇所マカバイ記二6:7に出る。そこには「毎月、王の誕生日には、いけにえの内蔵を食べることを、有無を言わせず強制され、ディオニソスの祭りがくると、つたの冠をかぶり、ディオニソスのために行列に参加することを強制された。」とあり、異教礼拝を強いられたユダヤの民は、豊饒と酒の神ディオニソス(バッカス)ゆかりのつたを冠にさせられたというのである。さらに、パウロが「朽ちる冠」と言っているのは(-コリント9:25)このつたで作られたものが意図されているようである。古代ギリシアの大競技祭において、競技者たちはつたで作られた冠を求めて競い合ったが、パウロはこの冠を朽ちる冠とし、「朽ちない冠」を得るようにすることを勧めた。

イスラエルでは現在ガリラヤ上部、サマリアの一部に見られるが、余り多くない植物である。垣根や家の装飾に栽培されている。常緑であるので、霊魂の不滅の象徴ともされた。